

腎生検標本を用いた糸球体腎炎の病態解明

1998年1月1日～2020年8月31日までに腎生検を受けられた患者さん

研究協力をお願い

当科では「腎生検標本を用いた腎疾患の病態解明」という研究を行います。この研究は、1998年1月1日～2020年8月31日までに日本医科大学付属病院腎臓内科にて、腎臓病の診断のために腎生検を受けられた患者さんの臨床データと腎組織所見を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：腎生検標本を用いた糸球体の病態解明に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2025年8月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 腎臓内科 三井亜希子

(2) 研究の意義、目的について

腎臓内科では、腎臓病の診断、治療方針の決定、予後を推定する目的で腎生検をおこなっています。当院で腎臓病の診断のために行われた腎生検の標本を用いて、臨床データと腎組織所見（炎症細胞の違いと腎組織の障害度）の関連性を後ろ向きに検討することで、患者背景、治療、予後と標本から得られる腎形態との関連性を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

1998年1月1日より2020年8月31日までに日本医科大学付属病院にて、腎生検を受けられた患者さんのうち、糸球体腎炎と診断された症例に対して、病歴、血液・尿検査所見、腎生検所見について検討をおこないます。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：診断のために採取された腎生検標本

情報：以下のカルテ情報（年齢、性別、身長、体重、病歴、血液・尿検査データ、腎生検所見、腎臓病の家族歴の有無）について収集します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 腎臓内科 三井亜希子

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6496

メールアドレス：m-akiko@nms.ac.jp